

＜資料＞「施工技術サービスコンテスト」審査のポイント

【フロアメンテナンス部門】（制限時間10分）

コンビニ模擬店舗で棚と棚の間の通路2列分の清掃を行う。フロアサイン・清掃中パネル、養生から、ポリッシャー、ウエットバキューム、床スクイジー、モップなどによるフロア洗浄までを行う。途中、来店した買い物客に應對し安全を確保しつつ商品を手渡すシチュエーションも設定されている。清掃ベストの着用、安全対策、ポリッシャーをはじめとする資機材の取り扱い、来店客対応などが審査される。



【ワックス塗布部門】（制限時間5分）

長方形に区切られ、固定仕器が置かれた黒Pタイル床に決められた量のワックスを塗布する。塗布スピード、仕上がり感、丁寧さなどを審査し、境目のはみ出しやワックスの残しなどは減点となる。

【ウインドウ清掃部門】（制限時間10分）

コンビニ模擬店舗の出入口を含めた窓ガラス部分を、脚立を使いシャンプーとスクイジーで拭き上げる。施工スピード、拭き残しや拭きムラの有無などの仕上がり状況のほか、貼ってあるポスターの取り外し・復旧、雑誌ゴンドラの移動・復旧なども審査項目となっている。



第1回施工技術サービスコンテスト入賞企業

順位	企業名	所在地
総合優勝	(株)ピワコ建装	滋賀
第2位	(株)ゴーイング	東京
第3位	(株)ドゥサービス	大阪
第4位	(株)エルフ(現:MAメンテナンス)	東京
第5位	(有)オールジャパングード	静岡
第6位	(株)シンコウサービス	埼玉
第7位	武田商事(株)	石川
第8位	(株)美耀	群馬

ントを個別にフィードバックする。また春に予定されている次回のCSR.mtで、評価の総括を行うこととしている。

施工技術サービスコンテストは、今後も最低年1回は開催していく方針だが、次回以降はCSR.mt

の会合とは切り離し、オールワンアカデミーと併せて開催。より多くの企業に、コンテストへの参加を促していく方針だ。

コンテストを終え、有賀社長に今後の展開について聞いてみた。

「時代の変化とともに床材の変更やお客様の来店ニーズも変わり、作業マニュアルも大きく変化してきた。多様化する時代のニーズに遅れることなく探求することこそが、われわれの未来だと思います。快適な空間づくりという当社のコンセプトのもと、お客様に喜ばれる資機材やシステムを提案・提供していけるような企業を目指し、業界にもエンドユーザーにも貢献していきたいですね」

問い合わせ

(株)くうかん 経営企画室 室長 射田幸正
TEL 03-5980-7027 MAIL y-ida@kukan-inc.jp